



## Pick Up News

学内発表（審査）を経て、せんだいメディアテークで開催されている『建築学展 A・（卒業研修制作展）』初日（2/28）に学外の建築家等審査員による発表審査会が開催されました。選ばれた卒業設計12作品と修士設計5作品の公開プレゼンが行われ、各賞が決定しました。一大学の卒評講評会にこれだけ著名な建築家が集い、一つひとつの作品に対して丁寧に、真剣にコメントをして下さる場があることはとても恵まれたことです。それに対する学生の姿は誇らしくもあり、また4年間（2年間）の成長を実感させる時間でした。『メディアテークで発表できる学生は幸せですね…』多くの方々声が掛けて下さります。その有り難みと意味を学生自身がどれだけ理解しているかはわかりませんが、喜びも悔しさも今後の力となり、一人ひとりの心と記憶に残る時間となったのであれば嬉しいです。



## 2024年度 建築学科卒業論文・卒業設計テーマ一覧

**卒業論文** 【大石研究室】ユニットハウスの年間エネルギー使用量に関する研究、3Dモデルを用いたモダニズム建築の環境性可視化に関する研究、排出量カルテにもとづく自治体の脱炭素動向に関する研究、カーボンニュートラルに向けた大学の取り組み状況の実態把握に関する研究、天井冷房システムの除湿特性に関する研究、宮城県内に立地する文庫蔵の室内温熱環境に関する研究 【鍵屋研究室】広域災害時の避難経路と誘導方法に関する研究、人が快適にベットと共存する居住空間—猫の生活動線と清掃ロボットの機能—、乳幼児の建物内の避難誘導方法—子ども園の避難訓練に基づく考察—、ライフスタイルとバルコニー等の住宅の半屋外空間の変遷、在宅避難時における自動車の活用方法に関する研究、防火設備の維持管理の実態—超高層ビル・文化施設の事例調査— 【許研究室】ルームエアコンの気流分布予測に関する研究、大阪北区ビル火災における有毒ガスの分布に関する予測研究、BIM技術を活用した給排水設備システムの設計に関する研究—大学施設として— 【新井研究室】シェアアトリエにおける共用空間と利用の関係性、同業愛カッパルにおける住宅確保に関する現状と課題—仙台市を中心として—、地方都市における外国人居住の実態と課題に関する研究—宮城県を対象として—、公共空間における民間利用の新旧の取り組みの比較—定禅寺道をフィールドとして—、主のニーズに応じた空き家活用方策に関する研究—地方都市部におけるシェアハウスプロジェクトのアクションリサーチと過疎地域との政策比較—、ゲストハウスにおけるコモンスペースの利用とその価値に関する研究、シェアキッチン利用と空間及び運営の関係性 【不破研究室】河原町における奥州街道の歴史的役割と土地利用の変遷、羽州街道沿いの歴史的構成要素とその実態に関する研究—山形県楢下宿を対象として—、マタギ文化が生み出す地域景観に関する研究—文献記述の整理に基づいて—、仙台バイパス六丁の建築—木材の活用と利用の相関に関する研究、温泉地を対象とする観光地の在り方とその変遷に関する研究—仙台市太白区秋保町湯元地区を対象として—、仙台市のニュータウンにおける敷地細分化の実態に関する研究、丁・日・米の3か国にみるオープンスペースの活用手法とその実態に関する研究、旧宿場町における建築物用途の変遷と土地利用の実態に関する研究—長町における奥州街道沿いエリアを対象として— 【石井研究室】サービス付き高齢者向け住宅の居住実態に関する研究—アンケート調査による地域区分別分析から—、福祉施設の地域での認知度に関する研究—開設から5年経過した多世代複合施設での経年比較調査—、仙台市への来日外国人の役所手続きのための誘導サイン設置の実証実験と検証 【斎藤研究室】仙台レクリエーション農園に関する基礎的研究、福島県大熊町の震災復興における先行整備施設の評価 【中村研究室】弘前城下町の最勝院—護摩堂の研究—建築様式・墨書・奉納額の一分析、弘前城下町・最勝院境内の小堂群—庶民信仰と近世仏堂の関係について—、岩手県一関市本寺地区における屋敷構えと農家建築の研究、登米市の文庫蔵における取蔵空間の研究、鹽竈神社前町の町家「大山米穀店」の研究、白河城下町・関川寺の境内と結城廟について、大谷美術館「空中庭」の茶室意匠について 【錦織研究室】幼児親子の行動調査分析—他事例調査とともに— 【有川研究室】地球温暖化対策における建築業界の取り組み—環境影響評価手法の変遷—、秋田スキの森林サイクルと公共施設木造化に関する研究、青森ヒバの森林サイクルと木材利用促進に関する研究、木造建築物の経年劣化に関する事例調査—木材の気象劣化と土壌の相関に関する研究、建築ストックの持続的活用に向けたリフォームの課題と展望—賃貸用住宅と賃貸オフィスビルの対象に—、天童市における公共施設等総合管理計画に関する研究 【菊田研究室】単層CNTファイバーによるFRCCの靱性向上効果に関する研究、HFRCCのハイブリッド効果発現における繊維混入バランスの影響、エアロゲルを用いた高断熱モルタルに関する研究—エアロゲル入り泡状断熱素材の調査条件およびモルタル調査条件の検討—、微細ひび割れの発現特性におよぼす人工筋内の繊維径の影響 【船木研究室】慣性質量効果を有する液流ダンパーを用いた2層骨組試験体の振動増加振試験、慣性質量効果を有する液流ダンパーを用いた制振骨組の振動応答解析、あと施工アンカーに対してひび割れ幅を与える引張耐力への影響、鉄筋コンクリート造4階建て建物を対象とした常時微動測定と地震応答解析に基づく振動特性の検証 【堀研究室】質量可変型粘性マスタダンパーによる免震建物の地震応答抑制、滑り機構を有する同調粘性マスタダンパーによる免震建物の地震応答抑制、各種ダンパーを用いた免震建物の地震応答抑制における変位依存性の検討、同調粘性マスタダンパーを鉛直設置した高層建築物の地震時全体曲げ変形制御 【藤研究室】人工地盤免震による複数棟振動制御に関する基礎的研究、竹集成材による既存建築物の補強に関する研究、構造ヘルスマニタリングシステム—水滴付着時に正確なデータを得るための手法模索— 【菅研究室】画像生成AIを用いたインテリアデザイン提案に関する研究、生成AIを用いた建築デザインの効率化についての検討、文章生成AIを用いたプロンプトの変更による建築士試験の正答率向上に関する研究 **卒業設計** 【新井研究室】岡テラス 学生と子育て層の学びあいの街 【石井研究室】緑と緑—変わる地域と社会—、つぎの生き方 健康である時間を延ばすための計画と設計、農業+福祉が紡ぐ人の繋がり—過ぎたの居場所 【大石研究室】福島駅前再開発 商業施設とレジャー施設 【許研究室】山車上の最上—祭りて紡ぐためにできること— 【齋藤研究室】Link s., 空間を紡ぐ—過ぎ、創りあげる—、緑—まちに浮き出るコミュニティー—、定禅寺通りの顕示、再興する反博、種々都市ヲ穿ツ、Affordance of the Door、大熊解体新書、暮らして街庭 【錦織研究室】街の中心を担う場として、駅との繋がり—駅を中心に人が集まる空間の提案—、わかば公園の再生—多くの人に使われる公園に—、屋上の公共性の再編、鋳物と過ぎす癒しのひととき、港SCAPE、実が生活のように—農業地域のこれから— 【福屋研究室】個性—集合住宅の在り方—、SENSES、松尾芭蕉を辿る、街づくりによる町づくりを、都市二雲ヲ降ロス、ひらき、港 竿燈祭りを用いたファニチャーの提案、人を紡ぎ—伝統を編む—伝統の素晴らしさを代弁する5つの建築部— 【不破研究室】山に染む時、まちを溶かし、宿屋を解かず、故郷旅行 広がる石巻のまちなか回廊

## Pick Up Lab.

**鍵屋（環境・設備）研究室**のテーマは、「安心で豊かな生活を環境と防災の両面から創造する」です。建築やまちづくりの立場から、こうなったらいいな、といった夢を自由な発想と技術的な可能性で裏付けて、日常の生活を安心で豊かなものにする方法を「かたち」にして、社会に向けて提案していきます。いわば建築・都市と装置、情報の新しい関係を考えて未来のエスキースを描く研究室です。今年度は、乳幼児の建物内の避難誘導方法、防火戸や防火シャッターの経年的な閉鎖信頼性、バルコニー等の住宅の半屋外空間の歴史など日常生活の様々なテーマに取り組んでいます。



乳幼児の建物内の避難誘導方法に関する研究



せんだいメディアテークの防火戸



3年 清水 健太 さん  
郡山 高校 出身

## Pick Up Student

大学に入学してから早くも3年が過ぎました。私は建築設計の授業が最も成長につながると感じています。設計では、構造や周辺環境との関わりなど、考慮すべき点が多くあります。自分が思い描く建物を設計するには、多角的な知識が求められます。最初は何もわからず、立ち止まることもありますが、自己研鑽を重ねることで知識が定着し、建築への理解が深まると感じます。また、教授や非常勤講師のサポートも手厚く、分からないことがあればすぐに質問できる環境が整っています。設計には時間と体力が必要ですが、少し無理をしても挑戦する価値があると思います。大学院を含めれば、あと3年間現状に満足せず、努力を続けていきたいです。



1年 原 若奈 さん  
山形工業 高校 出身

## Pick Up Student

私はこの1年を通してデザインの基本から構造計算、環境工学など幅広い建築分野を学びました。特に、模型製作などの自分のアイデアを具現化する瞬間が最もやりがいを感じます。頭の中にあった漠然としたイメージを図面や模型を通して形にするのはとても大変でしたが、初めて自分のデザインした建物を模型にしたときは達成感と感動がありました。また、試行錯誤の中で新たな発見をすることも多く、想像力を鍛える良い機会になりました。一方で、課題の締め切りが迫る中でのプレッシャーや、限られた時間を有効に使うことの難しさを実感しています。これからも単なる技術だけでなく、未来の社会に対する意識を育む貴重な時間として学びを広げていきたいです。